

おたる 西別院だより

お盆号



第5回（平成14年）盆踊り大会より

盂蘭盆会

8月15日（日）・16日（月）午後1時30分より小樽別院仮本堂にて勤修いたします。

お盆参詣

8月6日（金）より12日（木）の間でお盆参りに伺います。（あらかじめハガキにて、期日をお知らせいたします。）

納骨堂の読経

8月13日（金）より16日（月）の間は朝8時～夕方6時まで納骨堂での読経を受けたまわります。

盆踊り

8月7日（土）・8日（日）午後7時～9時まで

8月6日（金）より16日（月）まで、月忌参詣をお休みさせていただきます。

よき師とのであい



輪 番 岩 間 行 則

この度、輪番を拝命し、大任を担わせていただくことになりました。浅学非才の身ではありますが、宜しくお願い申し上げます。

さて我々は、人間生成の途上において、多くの人にあう。人間一般でなく特定の個人にふれることによって、その人の人生が決定すると言ってもよい。

小学五年のある日、学校は授業の代わりに映画鑑賞会であった。いつものごとく弁当を片手に四キロほどの道を学校へと走っていた。丁度一キロほど走ったところで一人の上級生に追いつき話をしていううちに、「学校で上映される映画は、明晩、村の公民館で上映されるので、学校まで行かなくても観られるから学校を休もう」ということになったのです。

二人は、山や谷、川などで人に見つからないように「道草」をして一日を過ごした。ところが、日も暮れかかった山中で、ワナに生け捕りされている『猪』を見つけてしまった。

その事を聞いた村人達は、「よく見つけた、よく見つけた」と褒めてくれ、私はもう学校を休んだことなど忘れ有頂天になった。父も褒めてくれるだろうと一部始終を話したのです。ところが、父の口からは、「学校をサポートして遊ぶような子は家の子じゃない、出て行け」と大目玉。そして玄関の戸を締められてしまったのです。涙が、止めどなく流れた。

一時間も経ったであろうか、母が玄関を開け迎え入れてくれた。母の目にも涙が光っている。父の前に、小さく座った。父は何も言わなかったが、父の顔にも涙が流れていた。

「目覚めてくれよ」という父の心であった。この一言が、私の人生を大きく変えていったように思う。父が逝って二十年。

お盆を迎えるたびに、父の一言を思い出す。よき師との「であい」は、人生を変える。

よき師を持つとう。

よき師を!!

二〇〇四年（平成十六年） 年 忌 表

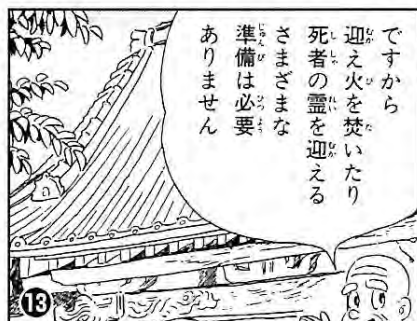
法要についてのお願い

●法要をご予定の際には、日取りを事前に別院とご相談の上、お決めくださいますようお願い致します。

●別院にて年忌法要を執り行われます場合は、法要法札の他、使用冥加金一万円を申し受けます。

- 一 周 忌 — 平成十五年
- 三 回 忌 — 平成十四年
- 七 回 忌 — 平成十年
- 十三回忌 — 平成四年
- 十七回忌 — 昭和六十三年
- 二十五回忌 — 昭和五十五年
- 三十三回忌 — 昭和四十七年
- 五十回忌 — 昭和三十年

マンガ仏事入門〈お盆の準備の巻〉



本堂修復懇志完納者ご尊名

(平成十六年六月七日現在)

●天井絵特別懇志

金貳百萬元

宮本 英子
高橋 米蔵
川上 正美
北川 紋二
猪田 格一
小紙 文隆
福島 正紘
竹田 栄治
寺澤 スガ
田村ヒロコ
杉本 守巧

金六拾萬元

三浦 幸子
川崎 正吉
高岡 フミ
松川 企一
近藤 英夫
牧田 金弘
星野 清成
中川 良一
星野 嘉雄
中屋 徳濃
白勢 ヨシ
野田 明

●門信徒懇志

金貳百貳拾萬元

辻井 聡克
本間 静枝
東 信吾
山田 アサ
山口 庄次
坂野 澄
坂田 知子
石田 京子
本江 淳子
森谷 久子
清水 薫
綿路サガ子

金六拾萬元

虎谷 賢一
藤沢 尚士
前田 幸一
西森キミ子
赤松 茂樹
飯田 英一
見延 昌治

金四拾三萬元

鉢呂 幸夫
上木 弘一
三箇 一弘
桶 ノブ
棧敷美恵子
近藤 ふじ
猪田 格一

金四拾萬元

坪田 節子
中嶋 知江
福井八重子
宮本 和彦
森谷 久子
山内 雅一
山下 法子
吉村 治彦
荒井 辰義
荒田 れい
石倉 利夫
石谷多美子
猪田 耕市
猪田 芳枝
今井百合子
岩船 寿
確井 正
大野アイ子
亀山美恵子
中田 宏
鳴井 喬浩
林屋美智子
深川 正雄
藤野 信一
本間 昭吉
松原 良勝
新木 久子
荒木 宏
五十嵐タマ
宇野 信子
大浦 義教
大竹トモ子
大野 友暢
岡川 照男
金森 玲子

金四拾萬元

北村 潔
桑原 茂夫
伏黒 敬一
是安 正和
高瀬 一彰
高本 幹也
塚田 郁雄
辻 國夫
寺澤 スガ
中村 喜照
馬場 誠二
古澤 ミキ
本間 祥一
最上 英世
本江 正臣
山本 タマ
吉田 芳子
石田 博
岩山 豊
鷹野 正義
成田 治子
三浦 ユキ
岩井 良子
倉町 栄一
中川なを子
福村 要吉
大橋百合子
堀畑 義昭
堀畑 義昭
水上 進
宮本とし子
山岸勇之助
山口 庄次
鰐淵 誠
荒木 ミツ
梅沢 茂雄

金四拾萬元

小田 誠
小野寺一夫
高橋 甫夫
多賀美枝子
田中 秀雄
大門 治雄
西野 喜十
久木 まさ
平野 マキ
福井谷真理子
堀田 初子
安川 吉松
山口 昇
吉村 公乃
江上 幸一
大坂 敬一
大西 ヒデ
奥田百合子
川上 公
木原 楨枝
小林 薫
佐藤 又一
新出 廣
田宮 恭子
辻井 幸雄
中村 澄
東出 静子
本間 静枝
本間 正一
毛利 邦夫
八ツ井健二
吉川 常男
飯島 重良
岩井加代子
大橋梅次郎

金壹百萬元

澤田 京子
早見 三郎
宇野 信子
小竹 一央
三箇 一弘
宮本 和彦
辻 啓子
白勢 ヨシ
本間 正一
西野 喜十
柴田 良雄
佐野 喜造
辻井富士男
田中 修次
宮本 みい
福村 要吉
中川なを子
佐藤 実
西田 正信
星野 ツヤ

金貳百貳拾萬元

福川 イサ
島本 邦子
森 政一
岩井 良子
駒寄 初枝
辻井 幸雄
大野 友暢
今井百合子
奥田百合子
辻井 富男
佐藤 又一
亀山美恵子
花和 常三
松井美智子
堀田 初子
大西 公子
四方 薫三
五十嵐清彦
佐々木百合作
井田 長女
井上 勇

金貳百貳拾萬元

牧田 盛夫
佐々木 茂
小倉 一徳
水上美枝子
関 藏
栗林 務
河田 安正
牧田 金弘
前田 清一
森 政一
猪股 喜行
辻 博子
田倉多恵子
秦 要
高橋 幸彦
齊川 明
齊藤 和也
福井谷高信
山田 孝造
花本 和夫
中舎 光子

金四拾三萬元

武田美代子
鈴木 計一
荒木美津子
石田 善久
伊藤スエ子
上野 正栄
沖田 ミヨ
加藤 正雄
川元 昇
木村ジュン子
近藤 英夫
齊藤 節子
佐々木百合作
紫竹 利雄
杉本 守巧
高橋 敏明
貴正 政行
辻 啓子
辻田キミ子

金四拾萬元

坪田 節子
中嶋 知江
福井八重子
宮本 和彦
森谷 久子
山内 雅一
山下 法子
吉村 治彦
荒井 辰義
荒田 れい
石倉 利夫
石谷多美子
猪田 耕市
猪田 芳枝
今井百合子
岩船 寿
確井 正
大野アイ子
亀山美恵子
中田 宏
鳴井 喬浩
林屋美智子
深川 正雄
藤野 信一
本間 昭吉
松原 良勝
新木 久子
荒木 宏
五十嵐タマ
宇野 信子
大浦 義教
大竹トモ子
大野 友暢
岡川 照男
金森 玲子

金四拾萬元

北村 潔
桑原 茂夫
伏黒 敬一
是安 正和
高瀬 一彰
高本 幹也
塚田 郁雄
辻 國夫
寺澤 スガ
中村 喜照
馬場 誠二
古澤 ミキ
本間 祥一
最上 英世
本江 正臣
山本 タマ
吉田 芳子
石田 博
岩山 豊
鷹野 正義
成田 治子
三浦 ユキ
岩井 良子
倉町 栄一
中川なを子
福村 要吉
大橋百合子
堀畑 義昭
堀畑 義昭
水上 進
宮本とし子
山岸勇之助
山口 庄次
鰐淵 誠
荒木 ミツ
梅沢 茂雄

金四拾萬元

小田 誠
小野寺一夫
高橋 甫夫
多賀美枝子
田中 秀雄
大門 治雄
西野 喜十
久木 まさ
平野 マキ
福井谷真理子
堀田 初子
安川 吉松
山口 昇
吉村 公乃
江上 幸一
大坂 敬一
大西 ヒデ
奥田百合子
川上 公
木原 楨枝
小林 薫
佐藤 又一
新出 廣
田宮 恭子
辻井 幸雄
中村 澄
東出 静子
本間 静枝
本間 正一
毛利 邦夫
八ツ井健二
吉川 常男
飯島 重良
岩井加代子
大橋梅次郎

坂田 知子	黒川 昭和	木原 清蔵	加藤 精一	奥山 敏三	海老名年行	荒井 義光	赤丸 愛子	鱒淵昭一郎	吉田 寿夫	吉岡 英彦	吉井唯三郎	山上 順子	室谷 ヤス	村林 信三	松井美智子	藤井 武史	畑 範雄	中村 訓敬	中津 サタ	辻井 富男	千坂 弥生	田宮 馨	田中 ハル	高畑 菊美	瀬戸川義明	鈴木 博子	北飯 セツ	川原 菊代	川口 孝弘	辻井富士男	田中さき代	高橋 勝也	佐野 清一	佐野 喜造	木下 秀子	川脇 ふさ	亀田 よね	金山カツ子
松川 企一	田中 ミツ	横谷チエ子	福永 浅子	久保 敏男	山田 ひで	林 永正	鎌田 美代	林 千鶴子	大沼 昭雄	宮本 英子	佐藤 利次	吉田フサエ	野田恵美子	野田 明	杉山 榮郎	藤松 義之	福井 千代	長谷川良子	土野 タマ	谷口 與一	田中 修次	倉野 幸夫	掛端 シズ	岡 満	今堀みえ子	石塚ミサヲ	阿波カヲル	安田 クニ	室谷 和嘉	村木 誠一	宮崎 愛子	松村仙太郎	花和 常三	武部 喜夫	清水サツキ	島田 フミ	柴田 良雄	佐藤 新治
鎌田 省三	徳光 敏子	佐藤 久行	浅田 敦蔵	山田勇太郎	山田 清和	安川 雄司	本田 壮稜	古瀬 澄	児玉 京子	川崎 正吉	大原 美佐	木下 清	及川 絹江	四方 薫三	山崎スミ子	志村 和雄	柴田 浩造	佐々木朋子	河野末五郎	工藤 忍	森 吉勝	松本 良造	馬久地チヨ子	長谷川 勉	西田 正信	中島 信子	酢谷 英男	新谷富美子	紅露 文美	加藤 キミ	境 君子	村田 キミ	大西 公子	鈴木 定夫	松山 政義	太田 圭佑	鍵市 勝秀	悦永 勇
高橋 清二	清水 幸延	佐藤 嘉晃	小前真智子	岡田美津枝	室谷美美子	東田 正一	西森 治美	中西 妙子	古川 治	相馬 燁子	上出 一雄	山部 博幸	北村美智子	菊 豊	山田 藤夫	平口山紀美子	福田 ミヨ	長谷川健治	長下部キミ	宇野 鉄一	鳴海 正一	高橋 米蔵	佐川 秀逸	齊藤 光枝	松浦 英尾	清水平太郎	深尾トメ子	松本 耕一	福島 正紘	早見 三郎	大野 トモ	宇野 弘昌	渡辺 てる	竹田 道治	清水喜代子	五十嵐清彦	田邊 ナツ	
青山 聡	内田 サト	吉田 光弘	伊藤 淳介	坂野 澄	高岡 フミ	阿部 恒久	荒井 慎一	竹田 栄治	西田 正雄	井上 勇	田中 宏	小紙 文隆	吉村 誠治	高野 広	萩野 稔	高橋 愛子	高 敏雄	日和 裕子	折橋 知代	富田 洋平	大村カツ子	宮川 省吾	黒田 康子	宮下 雄宇	竹内ハル子	滝田 章治	谷本 八郎	高島 茂	竹内侃二郎	岡田 菊江	井田 長女	羽崎 輝	駒寄 初枝	吉岡佐代子	久住三ツ井	能町 富雄	夏伐 静子	高橋 博子
篠田 洋三	伊東 恭子	高田 良子	石川キミエ	他屋 恵男	板垣 正人	小梅 安市	本江 テル	谷 七太郎	永井 勝子	安藤トモ子	西尾 ミヨ	小野 哲郎	金田 芳明	紙谷 ハツ	高橋 悦子	伊藤 祐子	小林 雄進	吉川 忠志	高頭 栄次	畠山 忠一	福井谷 始	福井 秀昭	上野 操	長 忠	浅野 彰夫	能町 瑛	齊藤 毅	藤 隆	中川 良一	穂山喜恵子	矢崎 友子	坪田 一則	逢見 輝義	井上千枝子	笠原 朝雄	真田 テル	伏黒 キク	布目 寿子
笹岡 正美	曾場 利夫	伊沢 直人	竹田 俊彦	辻本 三郎	横田テル子	田中 末一	片桐 康彦	岡村 光代	星野 輝男	高柳 昭吉	高松 毅	宇波奈津代	増田 又喜	山本 一夫	吉川 秀策	北村 直行	葉師 正雄	片桐 理一	三吉 衛	佐藤 照子	田中 宏宜	中山 逸子	清都 二三	安達 節子	福井谷 茂	西村 裕司	桑山健一郎	小竹 一央	石田 丈士	増田 チヨ	田中 信一	牧田カオリ	井田 成雄	小林 宣勝	池田 良治	花田 徳治	河笠 光男	山岡 幸子
鯉沼 勇二	西田 清治	斎田 義孝	内田 チヤ	砂長谷一雄	竹内 カツ	平木 昇	堀 正勝	松本 信雄	荻野 美晴	成瀬 澄子	嶋 ウメヨ	木原 尚	佐伯 尚	山上 正信	亀田 誠二	中曾 キミ	大坪 シズ	森下壽太郎	花和 正實	宮崎 享子	安達 正良	柄澤 進午	佐々木孝司	村田 浩一	荒谷 則幸	高田多美子	穴水 きよ	加藤 政幸	長谷川 博	松山 幸三	松岡 修位	上野 下サ	野坂 一允	伊賀 うめ	本間 昭作	守山 一彦	石黒 岩雄	

新井 重義
矢倉 君子
脇本 ヤイ
福井谷をり江
平田 博治
箱石 末雄
三上 勝博
佐藤下シ子
池田ひろ子
萩田ツヤ子
若松 英一
木谷 ツル
北村 雄一
前田 郁子
牧 正起
山崎 善夫
加藤 浩
吉田 えい
風下 淳子
和田 憲一
清水 薫
宇野 克世
布村 元一
山田 達治
宮本 キミ
竹脇 義洋
栗林 榮一
坂下 郁子
小林登喜子
小林 修一
川崎 信一
夏伐 勲
木下 正紀
真屋 敬信
川上 正美
澤田 幸治
辻井百合子
坪川總一郎
笠原 勝美

石丸 澄子
木下 昭伸
朝日 博
鶴林 敬子
進藤 静雄
間形 房雄
中 関蔵
森野 基子
川崎 幸一
渡辺 智恵
豊田 義明
相良 顯三
中山 かの
武藤 賢司
神田 幸尚
神原 當恵
東井 紀子
三橋 靖彦
牧 俊明
山田 武雄
吉田 尚孝
齋藤チヨノ
大嶋ケイ子
中村 純一

金壹拾萬圓
十九日講
唯信講
樹心会
法友会
彰心会
金壹拾萬圓
山内シズ子
金四拾萬圓
名取美枝子
金貳拾萬圓
中井 留子
小野田儀信
佐藤友伎子
白崎 義朗
瀬戸川鶴雄
長谷川好明
姫野美耶子
平山ツル子
杉本 禮子
永森 静子
名取美枝子
宮口 久子
多賀 修
脇本 悦子
花坂 健三
佛田家
高頭 妙子
岡部 満男
大野アイ子
吉田トネ子
佐藤久四郎
高橋 秀男
森 キミ
西村 君雄

宮崎 吉蔵
加藤 新一
小池 健一
宮崎 晴通
坂井テツ子
鹿島土師子
三浦恵津子
金壹拾萬圓
大江 智朗
八田 清治
金五萬圓
西蓮寺（長崎県）
金參萬圓
中野 政一
瀬川 お幸
関川 澄子
金貳萬圓
稱名寺（東京都）
岡 玲
小坂 達尚
内藤 良照
白川 了信
佐和田美希
武藤 幸久
常通寺（東京都）
松崎 美弥子
金五万円
清水直次郎
金壹拾萬圓
崇敬寺院懇志
金壹百六拾萬圓
勝圓寺（札幌組）

金壹百四拾萬圓
真光寺（後志組）
後志組
光照寺（後志組）
東林寺（後志組）
富貴寺（後志組）
光超寺（後志組）
浄楽寺（留萌組）
法雲寺（宗谷組）
正行寺（後志組）
真龍寺（後志組）
西教寺（胆振組）
本念寺（後志組）
照覚寺（後志組）
光寿寺（後志組）
光雲寺（後志組）
大成寺（後志組）
永福寺（留萌組）
専念寺（後志組）
明善寺（後志組）
乗念寺（後志組）
真正寺（後志組）
明現寺（留萌組）
西隆寺（後志組）
無量寿寺（後志組）
善勝寺（留萌組）
信楽寺（留萌組）

法昭寺（胆振組）
廣徳寺（宗谷組）
大成寺（宗谷組）
明德寺（留萌組）
光徳寺（後志組）
浄光寺（宗谷組）
金壹百五拾萬圓
片山 晃英
金壹百貳拾萬圓
西川 達恵
武藤 三孝
金壹百萬圓
鷺頭千津子
金八拾萬圓
村上 隆昌
金六拾萬圓
梶 純信
金五拾五萬圓
磯村 真一
金四拾萬圓
村田 法道
猪口 大悟
温井 卓生
金參拾萬圓
相馬 早苗
渡部 恵
（敬称略）

六月八日以降の完納者
ご尊名は次号以下に順
次掲載致します。

天井絵懇志のお願い

現在、お願いいたしております天井絵について、「数人でならお納め出来るのですが…」
というお問い合わせが殺到いたしております。別院といたしても、出来るだけ多くの方
にご協賛いただきたく、この度天井絵懇志は各三名迄の連名も出来る運びとなりました。
この機会に是非、個人またはご親戚・ご友人とご協賛いただきますようよろしくお願い申
し上げます。

広 報

第六回 別院盆踊り

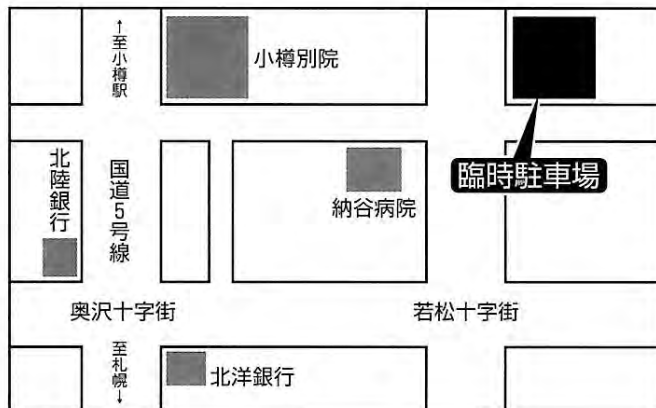
- 日 時 8月7日(土)・8日(日)
午後7時～9時まで
- 場 所 本願寺小樽別院境内

※雨天の場合は中止となります。又、午後6時以降は境内への車の乗り入れをご遠慮ください。

お楽しみ
抽選会有り!



臨時駐車場設置のご案内



本堂修復工事に伴い、別院より徒歩2分の場所に臨時駐車場をご用意させていただきました。

ご参拝の折、境内に駐車できない場合はこちらをご利用ください。

OA商品・リコピー・事務機・スチール家具

株式会社
北光堂

小樽市花園4-1-2 FAX 25-1358
TEL 32-1322

御葬儀 年中無休 24時間受付

有限会社 **小樽永楽社**

小樽市長橋4丁目2-23
31-4949(代)

お知らせ

常例布教のご案内

小樽別院では毎月、前期7日～11日と後期13日～16日の午後2時（法要終了後）から仮本堂におきまして常例布教を行っております。

ご講師は、本願寺派布教使をお招きし、ご法話を頂いております。お誘い合わせの上、ご聴聞ください。尚、期間中のおあさじ（午前6時30分からの朝のお勤め）の後にも、ご法話がございますので、お参り下さいますようお願いいたします。

日曜仏教講座のご案内

月忌参詣の折り、「仏様の教えとは、どんなことですか?」といった質問をよく頂きます。別院では、どんな小さな疑問にもわかりやすくお答えしようと、日曜仏教講座を毎月第3日曜日の午前9時30分から約1時間開講いたしております。（ただし、別院の諸行事で、開講日が変わることがあります）



当講座ではご講師に、双葉高校教諭の櫻井法道先生をお招きし多彩な文献や写真を使ってお話を頂いております。毎月多数の受講者があり、熱心に先生の話に耳を傾けておられます。



いつからでも受講できますので、お気軽にどうぞ。

これからの予定

7月18日 8月22日

お問い合わせは、別院（22-0744）までどうぞ！

ご案内

お 晨 朝

毎日 午前6時30分

常 例 布 教

毎月7日～11日 午後2時
（法要終了後）
13日～16日 午後2時
（法要終了後）

仏教青年会

毎月1回 午後7時30分

仏教婦人会

毎月15日 正午（おとぎあり）

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめしま専科!

毎月2回（火曜日） 午後2時

ボーイスカウト

毎月1回（土曜日） 午後2時

日曜仏教講座

毎月1回（第3日曜日）
午前9時30分

十 九 日 講

毎月19日 正午（おとぎあり）

各説教所の案内

●奥沢説教所

樹心会 5日 午後7時
唯信講 10日 正午

●若竹説教所

彰心会 7日 午後7時

●緑説教所

無量講 9日 午後6時

●新光説教所

法友会 13日 午後6時

このたび四月一日付をもちまして、山命により、本願寺小樽別院輪番の職を退職いたしました。
顧みますと、平成十二年十一月より三年五ヶ月の間、公私にわたりご厚情を賜りましたこと、有り難く厚くお礼申し上げます。
今後は、自坊にて、ご法義繁盛のため精進致す所存であります。
皆様方には、今後とも変わらぬご教導を賜りますようお願い申し上げます。
退任のご挨拶とさせていただきます。

〒569-1103 高槻市山手町一丁目九-十三

瑞 應 寺

住 職 片 山 晃 英

合 掌

●3分間の心のともしび

小樽別院 **テレホン法話**

24時間
いつでも
どうぞ

TEL 27-1616



みんな

仲良し

小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行ないます～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」などを育てるよう保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

現在も途中入園を受付しておりますので宜しくお願い致します。

(年中見学可能です。是非一度見学にお越し下さい。)

☆**保育時間** → 月曜日～金曜日(8:40～14:00/冬時間<11月～>8:40～13:30)

☆**昼食** → お弁当～週3回 / 給食～週2回(パン食/米食)

☆**預り保育** → 月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:00迄は無料/降園バス有)

☆**プール遊び** → 年間を通して、週1回温水プール遊びを行っています。

☆**英会話** → 月2回年長のみ行います。

☆**送迎バス** → ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。

☆**主な行事** → 花まつり・降誕会・運動会・海水浴・親子遠足・バス遠足・
いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちゃつきなど。

☆**ならし保育** → 満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、火曜日クラスと
(いちご組) 木曜日クラス(毎週各1回)保育します。

※好評につき平成16年度は、定員がいっぱいです。

4月8日はお釈迦様のお誕生日です。

お釈迦様はルンビニー園という花園でお生まれになり、その時に甘い香りのするきれいな雨が降ってきたといわれています。

幼稚園では、1ヵ月遅れて、5月7日にお釈迦様にお花と甘茶を捧げてお祝いしました。

また、みんなで甘茶を頂き、苦くて甘い不思議な味に大興奮!

いつもと違う味を楽しみました。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL FAX **0134-22-6536**